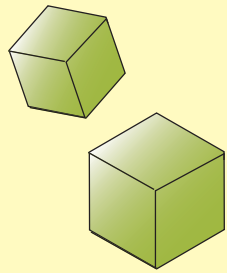


森の道具箱



さあ、この左の箱の色は何という名前
の色でしょうか。緑、黄緑、もっと鮮や
かな黄緑…？

日本の伝統色では緑色だけでも約 30
種類程に分けられます。この色は萌黄
(もえぎ) 色と呼ばれ、萌え出でた若葉
のような、冴えた黄緑色のこと。まさに
今、旬の色ですね。

遠くの山にも足元にも、いろいろな緑
色が見られるこの季節。この「伝統色」
を自然を楽しむ一つの視点して、森あそ
びの道具箱に加えてみてはいかがでしょうか。

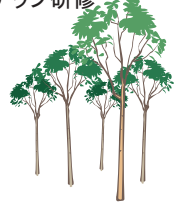
このコーナーは次号より森の道具箱と
称して、現場で活躍している方が愛用し
ている道具等をご紹介します。予定です。

活動予定

富士山 地区

- 4 月 29 日 植樹祭
- 5 月 14 日 野菜の苗植え・キノコ栽培
- 15 日 生き物調査隊
- 20 日 森の小径づくり
- 6 月 18 日：大人のこだわり工房
～こだわりの箸・スプーン作り～
- 24 日 ひょうたん池づくり

福島 地区

- 指導者のスキルアップ研修
- 指導者のスキルアップ研修
- 20 日 間伐体験
- 
- * 毎週水曜日：森林整備
- * 第 1、第 3 土曜日：森林整備

広島 地区

- 15 日 週末森づくり隊
- 3～4 日 環境教育リーダー養成講習
- 5 日 森のカフェ
- 21 日 週末森づくり隊
- 11 日 週末森づくり隊
- 広島地区サポーター募集中！
- 年会費 2,000 円／人（一般）
- 1,500 円／人（学生）
- サポーターの特典
- ・プログラム参加費の割引
 - ・会報の送付 など

交通とお問い合わせ

電車の場合：東海道新幹線新富士駅 JR
または JR 身延線西富士宮駅下車
車の場合：東名高速道路富士 I.C より
西富士有料道路経由で 40 分

NPO 法人ホールアース研究所
〒419-0305
静岡県富士郡芝川町下柚野 165
TEL：0544-66-0790
FAX：0544-67-0567
E-mail: forest@wens.gr.jp
担当：山川・井戸

電車の場合：JR 常磐線いわき湯本駅下車
車の場合：常磐自動車道いわき湯本 I.C
下車 10 分

NPO 法人いわきの森に親しむ会
〒970-8326
福島県いわき市常磐藤原町湯の岳 2
湯ノ岳山荘内
TEL：0246-44-3273
FAX：0246-44-3273
E-mail：yunotakesanso@city.iwaki.fukushima.jp

電車の場合：山陽新幹線広島駅下車
バスで 60 分
車の場合：広島自動車道広島北 I.C
下車 20 分

NPO 法人ひろしま自然学校
〒733-0004
広島市西区打越町 11-8-207
TEL：082-237-1163
FAX：082-237-8863
E-mail：nkk2002@mac.com

あとがき

ここ富士山の麓では、田植えの準備が進み、夜にな
るとカエルの大合唱が聞こえています。

2004 年末から企画・準備を始め、昨年 10 月に 3 地区
で正式に開校して半年あまり、ようやくろうきん森の学
校が本格的に始まります。森にとって 10 年という時間は
わずかなものかもしれませんが、人（私）にとっての 10
年はどんな変化が待っているのでしょうか。楽しみです。

（ろうきん森の学校全国事務局担当 大武圭介）

次号予告（2006 年 6 月下旬発行予定）

- ・ろうきん森の学校 3 地区のフィールド大解剖！
- ・3 地区で活躍するスタッフのリレー紹介「Who's Who」
- ・森づくり、森あそびに欠かせない「森の道具箱」
- ・ありっちょの体験レポート「体当たり体験」
- ・各地区のイベント情報
- ・などなど、楽しい情報もりたくさんお届けします。

ろうきん



富士山、福島、広島の 3 地区で
森・人・地域を育てる 10 年間のプロジェクト

Vol. 1

森の学校だより

2006 年 4 月 29 日発行 ろうきん森の学校全国事務局 〒419-0305 静岡県富士郡芝川町下柚野 165

TEL：0544-66-0790 FAX：0544-67-0567 URL：http://www.wens.gr.jp/npo/morinogakko/top.htm E-mail：forest@wens.gr.jp



『ろうきん森の学校』は、
「日本の里山再生」をテーマに、労働金庫連合
会の 50 周年記念社会貢献事業として、NPO 法
人ホールアース研究所が主管となつて行う、森
林環境教育事業です。2005 年度より 10 年間に
わたって富士山、福島、広島の全国 3 地区で同
時に展開しています。

昨年度の準備期間を経て、2006 年春、本格
的に活動がスタートしました。ろうきん森の学校
は大人から子どもまで、どなたでも参加できる楽
しい学校です。

『ろうきん森の学校』は

- ①森を育む…植樹・育樹・間伐・下刈り等の
森林整備活動
- ②人を育む…森づくり・環境教育のリーダー育成
- ③森で遊ぶ…里山を活用した自然体験・環境教育
プログラムの開発と実施

の 3 つの柱で活動を展開していきます。

< 目次 >

- ・ようこそ「ろうきん森の学校」へ!!
～3 地区からのごあいさつ～ …2-3
- ・ありっちょの体当たり体験レポート
第 1 回「みちのく・いわきで出会った 1 本の樹」 …3
- ・森の道具箱
- ・ろうきん森の学校の活動予定
次号のお知らせ／あとがき …4



富士山 地区

現地事務局：
NPO 法人 ホールアース研究所

富士山地区担当の山川です。富士山を見ながら流す汗は最高ですよ～！



同じく井戸です。みんなで楽しくやりましょか。



富士山地区では、その名の通り富士山をぐるっと囲む3エリアで活動を展開しています。

まず富士山の南西麓に位置する「柚野エリア」では、富士山の伏流水から成る芝川が敷地内を流れます。畑の開墾隊や森づくり隊などの作業、木材を使ったクラフトなどの活動を展開しています。疲れた時にふっと見上げる富士山、聞こえてくる川のせせらぎとヤギの鳴き声…森の中で過ごすことの気持ち良さを体感していただけのエリアです。

富士山の西麓にあり、ダイヤモンド富士が見られることで有名な田貫湖を眼科に臨



む「田貫湖エリア」では、のんびりと森の中や湖畔を散歩しながら、生き物の言葉に耳を傾ける、そんなプログラムを展開しています。

富士山の南東麓に位置する「御殿場エリア」は、ろうきん富士研修センター内にあります。ここでは本格的な間伐作業や間伐材を用いたツリーデッキづくりなどの活動を展開しています。手入れされた森の様子がショールームのようにわかる場所です。

絶好のロケーションに恵まれた、ここ富士山地区では、各種プログラムをご用意しています。ぜひお試しください。



福島 地区

現地事務局：
NPO 法人 いわきの森に親しむ会



いわきの森に親しむ会の松崎です。旬の食事と旬の話題をご用意してお待ちしています。



でも、なんといっても一番の楽しみは、石釜料理でしょうか。一方、「岩出地区」はまさに里山そのもの。住宅地を少し抜けると、そこには田畑そして森が広がっています。森の手入れ、山菜採り、農作業などのプログラムをご用意しています。ありのままの自然を受け入れ、自然の恵みをいただくなど、先人の知恵や考え方を体感できる懐かしい場所です。

東京からわずか2時間あまりで、のんびりとした時間と空間が楽しめます。多彩・多才なスタッフがお待ちしています。



広島 地区

現地事務局：
NPO 法人 ひろしま自然学校



ひろしま自然学校の志賀です！この森だけでなく、私の笑顔でも癒されること請け合いです！



田園の後ろには山の急斜面、そんな西日本特有の風景が広がる北広島町にある対象地は、万代池という貯水池をぐるっと取り囲む形で広がっています。土地や植物の特性を生かす形でゾーン分けがしています。

対象地のシンボリック存在の万代池ではカヌー体験のほか、さまざまな水生生物を観察することができます。止水域では、水草や広葉樹を植えて、もっといろいろな小動物や小鳥が集まるような環境を整えます。「これは何の卵だろう？」そんな質問にもお答えできる生き物博士のスタッフもいますよ。



雑木林の広がる森林学習ゾーンでは、子どもたちが森の中で思いっきり活動できるように、遊び場や焚き火場をみんなで作っています。どんどん素敵な広場が出来上がってきています。

里山再生ゾーンでは、松枯れ被害を受けたアカマツ林の整備を中心に、里山の再生を目指します。マツタケ採取復活も夢ではないかもしれません。

この他にもいろいろなゾーンがあり、こでまると森について学んで遊べる、まさに「森の学校」です。みんなの「森」を一緒につくっていきましょう！



あいちの体当たり体験レポート

Vol.1
研修会で諸先輩相手に大奮闘
～みちのく・いわきで出会った一本の樹～



ありっちゃこと、有正あかね。ろうきん森の学校全国事務局を担当。前職の教員時代に、自然体験で子どもの目が変わる！と実感。それ以来環境教育のプロを目指し、ホールアースで奮闘する日々。全国津々浦々、今日のありっちゃはどこへ行く？

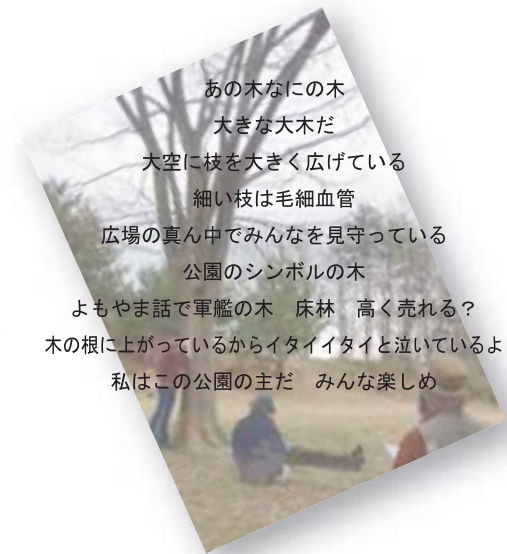
今回のありっちゃは福島県いわき地区。3度目のいわき訪問とあって、いろんな楽しみを胸に秘めて行ってきました。「何が食べられるかな～」「どんなおじさまに会えるのかな～」ワクワク！

ところが、今回のいわき訪問はそんなに気軽なものでもなさそうで、実はいわき地区の諸先輩方を相手に、環境教育プログラムを実践してみせなければならないわけです。トホホ…。

普段使わない頭をひねらせて思い浮かんだのが「一本の樹」。一本の樹（ケヤキ）をいろんな人がいろんな場所から見上げ、それぞれが一文を作る。最後に全員の文を合わせて一つの詩を作るというもの。

さてさて、個性の強い方々が集まるこの地区で、本当に一つの詩ができあがるのかだろうか…。一抹の不安が残る中、いざ出陣！

櫟（ケヤキ）



あの木なのに木
大きな大木だ
大空に枝を大きく広げている
細い枝は毛細血管
広場の真ん中でみんなを見守っている
公園のシンボルの木
よもやま話で軍艦の木 床林 高く売れる？
木の根に上がっているからイタイイタイと泣いているよ
私はこの公園の主だ みんな楽しめ

出来上がったのが左の詩です。一文ずつ読んだ時には、「あ～、やっぱり無理やんか。これどうやって詩にするん？」と、逃げ出したい気持ちになったけれど、そこはさすが皆さん年の功？見事にまとまりのある詩が完成しました。

人によって同じ樹でもいろんな感じ方があるんだなあ、文は人柄を表すんだなあ実感。それでも全員の文を集めて一つの詩として完成できたのは、日本人として共通の何かがあったからなのでしょう。

詩も完成し、研修会も成功裏に無事終了し、湯本温泉にも入れ、大満腹のありっちゃでした。

次号以降も、ありっちゃが東奔西走してろうきん森の学校での体当たり体験をお届けします。お楽しみに！